

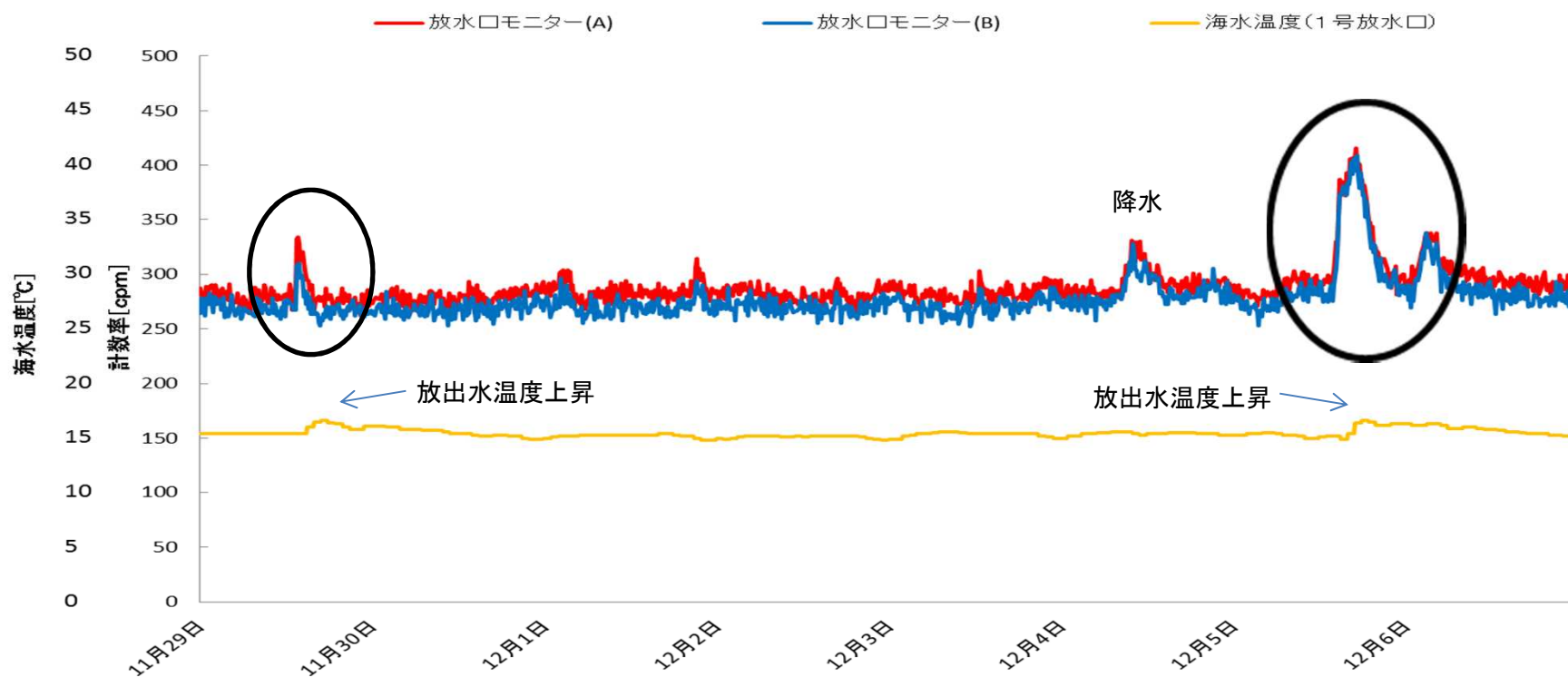
女川原子力発電所1号機 放水口モニター指示値上昇事象について

平成25年2月6日
東北電力株式会社

1. 事象概要

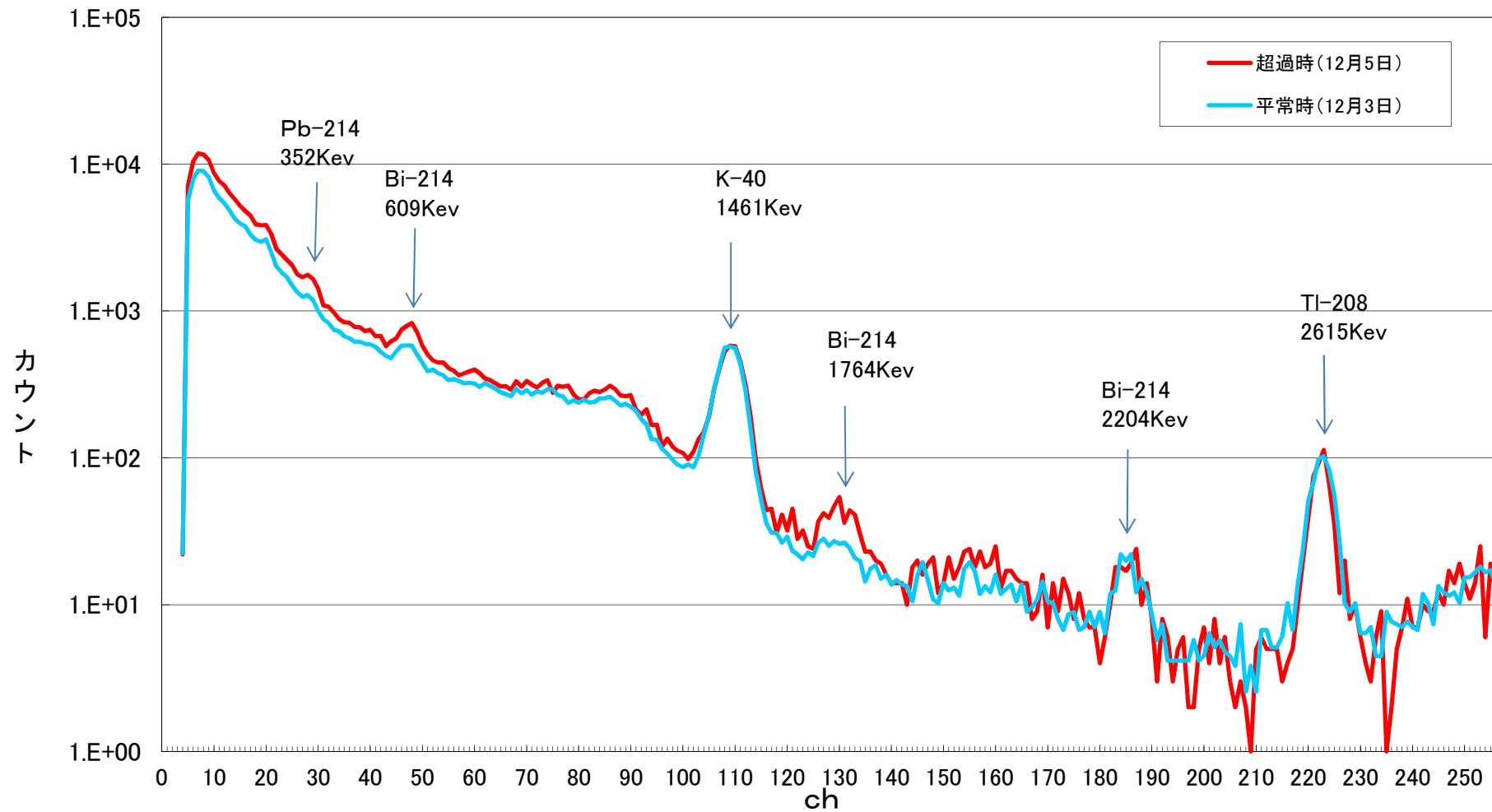
- (1) 東日本大震災で損壊した1号機放水口モニターについては、平成24年6月より 浸漬式モニター(放水路内に直接検出器を設置)による運用を開始している。
- (2) 運用開始後より、降水等によらない指示値の上昇が確認されており、その都度、発電所からの放射性液体廃棄物の放出の有無や放出水の核種分析等を実施し、指示値上昇が自然界に存在している放射性物質の影響であることを確認している。
- (3) 指示値上昇とほぼ同じタイミングで海水温度が若干上昇している。

放水口モニター計数率トレンド(平成24年11月29日～12月6日)



2. 上昇時のガンマ線スペクトル

[放水口モニター(A) : 平成24年12月5日]



3. 今後の対応

- (1)放水口モニター指示値の上昇を確認した都度、発電所からの放出の有無や放出水の核種分析等を実施し、発電所に起因する人工放射性物質の影響の有無を確認していく。
- (2)外部機関等の助言・協力等を頂きながら、指示値上昇原因について調査を実施していく。